

● 第4号様式（第10条関係）

会 議 録 （要 旨）

会 議 名	令和4年度第5回生涯学習審議会
開 催 日 時	令和4年12月20日（火） 午後2時～午後3時50分
開 催 場 所	さくらホール集会室
出 席 者 及 び 欠 席 者	出席者：齊藤委員、石橋委員、高橋委員、渡辺委員、吉田委員、河原塚委員、中里委員、原田委員、木下委員、長堀委員 事務局：文化振興課長、文化振興課生涯学習係係長・主事
議 題	議題1：市民大学立上げのための検討組織について
結 論 （決定した方針、残された問題点、保留事項等を記載する。）	議題1：生涯学習審議会内に市民大学立上げの為の小委員会を設置する。
審 議 経 過 （主な意見等を原則として発言順に記載し、同一内容は一つにまとめる。） 説明者 ○＝委員 ●＝事務局	<p><b>報告事項1：令和4年度武蔵村山市公民館講座実施状況について</b>          &lt;事務局が資料を読み上げる&gt;          ●只今の説明について質問等を受付ける。          ○資料の墨色で黒塗りされているものは何か。          ●前回の会議で報告をした内容から追加を行った内容について色を変えている。</p> <p><b>議題1：「市民大学立上げのための検討組織」について</b>          &lt;事務局が資料を読み上げる&gt;          ○生涯学習推進会議で報告を上げた検討結果については、どこまでその報告を行っているのか。また、その結果についてはこちらに何かしらの回答のようなものはあったのか。          ●報告書については市長まで報告をしている。また、その結果については回答をもらうようなものではなく、あくまで検討した結果を報告としてあげたところのものである。          ○この審議会の中に小委員会のようなものを作り、その中で市民大学の内容についての検討を行い、それを生涯学習審議会へ持っていきそこでそれを審議等行う形をとるのはどうか。          ○小会議を3つに分けてそれぞれ公民館の内容、市民大学の内容、生涯学習の内容を検討し生涯学習審議会では結果報告し、そのまとめたものを市へ報告するというような組織づくりはどうか。          ○3つに分けてしまうと従来の形に戻ってしまうと思う。          ○小委員会で、講座内容、予算、開催場所、テーマ案などを詰めていけるといいと思う。          ○大学に求めるものをこの検討委員会でテーマ案を話し合い、その意見を集約し生涯学習審議会では報告、検討というのが良いと思う。          ○そのほかの組織づくりへの意見はないか。          ○特になければ、生涯学習審議会内に市民大学についての検討を</p>

行うための小委員会を作るということで進めたいと思う。

○ここで少し市民大学にどのようなことを求めたいのか、どのような大学をめざすのか、委員の方々一人一人に意見を伺いたいと思う。

○趣味がないといったような何を学びたいのかを知るといようなきっかけ作りのための単発で入りやすさに重点を置いた講座を望む。色々な種類の体験講座のようなものがあるといいと思う。

○受講生のニーズは多様にあり、仲間づくりを求めている人もいれば、その知識やスキルなどに特化して学びたい人もいるので、それになるべく沿うような形の物を作り上げていければいいと思う。さらには、深く知識を学ぶという点からは、長期的な講座を行うというようなことは必要だと思う。

○既存の公民館講座に加えて市民大学を加えるというイメージである。そこからも、既存の講座と市民大学の役割を明確に分けたほうがいいと思う。居場所づくりの提供、地域の仲間をつくるためなどというような部分を市民大学に担ってもらいたい。

一方で、自己実現や課題解決などというような学ぶという部分に焦点をあてた講座開講も必要と思う。

○既存の講座と、市民大学に求めるものとの違いとは。

○講座開講回数の違いをつけること。最低でも5回以上の継続性を伴うものが必須。

○想定する講座数は。

○大きく地域分け、4つぐらいの地域に分けて、その地域ごとにそれぞれ講座を行えるといいと思う。受講料に関しては、無料で行うように想定している。民間のカルチャースクールなどといったものとは違うので無料で行うことが望ましいと思う。

○行政としては既存の講座について今後の展開はどのように考えているのか。

●市民大学を運用していく中で市の既存講座の運用等の方向性を考えていきたい。

○共通認識として持つ必要があると感じたのは、講座受講料についてはどのように考えているのか。

○講座は無料で行うというのは限界があると思う。スキルの高い、専門的な分野を学ぶとなると、費用はある程度発生するのはやむおえなと思う。

●既存講座はそのまま運用は行い、市民大学に引き継げる講座があればそのまま持っていくようなイメージで考えている。

○開催形態は夜間の開講や、オンラインでの開講などもあったほうがいいと思う。

○長期継続的な講座が必要だと思う。例えば日曜大工など教えるような講座であるならば、最終目標は何かを作り上げるというようなことで展開したい。何年もかけて形にしていけるといいと思う。

○地球物理、環境をテーマに学ぶ講座を望んでいる。一人では調べることは難しい。そんな内容を専門の講師を迎えて学んでいけるといいと思う。(オンライン講座なども開講)

○再生可能エネルギーやロボットの研究など一定レベルの知識を持ち合わせていないとできない難しい内容の講座が望ましい。長期展開が必要である。

